



沖縄県伊江村
議会広報



しほもん



伊江村議会事務局



注目記事
トピックス

伊江村民収容跡地 訪問 P13

今年も
残りわずか!
頑張るっチュン🍂

- ・ 村政の **ここを問う** P2~6
- ・ 村のお金の **使い道は!?** P10~11



ここを問う

一般質問の詳細については、ホームページの第8回定例会をご覧ください



村花木のサルスベリを街路樹や公共施設で増殖することはできないか

村長 「防風林の日」やチューパンジャまつり等においてサルスベリの苗を無料配布し、増殖に努める



しまぶくろ よしのり 島袋 義範 議員

問 昭和60年2月、今から40年前に「伊江村の木・花・花木」を選定、木をガジュマル、花をテッポウユリ、花木をサルスベリと定めた。ガジュマルは去る大戦でほとんどが焼失したとはいえ、現在でも屋敷防風林や公園等には植栽されている。近年では「木の上の軍隊」の中で映像としても取り上げられている。テッポウユリは、農業用水を少量でも栽培できることから、村の「農業複合経営対策事業」の花卉栽培のスタートの作目として導入された。しかしながら、村木・村花に比べ、村花木のサルスベリは各家庭や公共施設の中で少ないような気がしている。夏場の花の少ない時期に花が咲き、フラワーアイランドの役割にもなっており、各家庭や公共施設で増殖すべきだと思いが、村長の考えを伺う。



西崎区女性会管理 「やまやまガーデン」のサルスベリ

答 村長

サルスベリは管理の手間や品種の少なさ、村民の嗜好の多様化等から村内の家庭園等では減少している状況にある。今回の一般質問を受け、これから開催されます「防風林の日」や「チューパンジャまつり」等においてサルスベリの苗を無料配布し、増殖に努める。

問 なぜサルスベリの苗を無料配布するのかを村民に周知させなければ無料配布の意味がないと思う。若い村職員の中にはサルスベリが村の花木であることさえ知らない職員もいる。村木、村花、村花木を周知させる広報活動も必要だと思つ。

また、村花木であるサルスベリを、各家庭1本ずつ運動を提唱したい。学校現場では、言葉で教えるのではなく、子ども達と一緒に植えることで教えるようにしていただきたい。

総合体育館「サウナ施設」の年間会員制度の創設について

教育長

利用者のニーズを把握し、近隣自治体や、他施設での利用状況を調べ、本村に適した制度の実現に向けて取り組みたいと考えている。

問 「サウナ施設1回の使用料金は、非会員1,200円、会員は600円となっている。サウナを頻繁に利用されている方の中には、年間9〜12万円も支払っている方もいらっしゃる。そこで、回数券や年間会員制度を創設し、料



伊江村総合体育館 サウナ施設

答 教育長

総合体育館のサウナ利用者は、令和4年度は595人、令和5年度868人、令和6年度1,361人となっており、年々利用人数は増加傾向にある。回数券や年間会員割引制度を導入することにより、頻繁にご利用いただいている方の利便性向上や運動とサウナ効果による健康増進に繋がる可能性がある。それらの点を踏まえ、利用者のニーズを把握し、近隣自治体や、多施設での利用状況を調べ、本村に適した制度の実現に向けて取り組みたいと考えている。

これは個人的な感想であると思うが、サウナを利用してきているから、その後、血圧が安定してきたと語る人もいる。サウナに入ることによって、体調が良くなる、健康増進の効果をもちと広く村民にPRして、プールやサウナの利用者を増やす努力を希望する。

金を安くしてほしいとの要望が出ているが、考えを伺う。

村政の

県営かんがい排水事業（伊江西部地区）の進捗状況について

事業完了を令和11年度までの4年間延長せざるを得ない状況である

村長

問 本事業は、伊江西部土地改良区内の整備工事で、令和2年に実施設計、令和7年度に完了予定と当時説明があった。

西部かん水地区は、昭和55年に設立され、当組合員の賦課金により農業用水の管理の運営がなされており、これまで賦課金の未納がなく、優良に経営がなされている。本事業が完了し、伊江土地改良区へ統合されるまでの期間は、組合員の賦課金は据置き、余剰金で運営管理を行う予定だが、本整備事業が遅れた場合には、余剰金での運営が厳しい状況にある。そこで、次の点について伺う。

1. 県営かんがい排水事業（伊江西部地区）の進捗状況及び完了予定は。
2. 伊江土地改良区へ統合するまでの間、伊江西部かん水組合への運営助成はできないか。

答 村長

1. 県営かんがい排水事業（伊江西部地区）の工事内容は、管路工16.5キロメートル、給水栓が611基、圃場内の既存スプリンクラー基礎の撤去工となっており、現在までの進捗率は、管路工が82%、13.5キロメートルを完了し、給水栓については、ボックスの設置が88%、586基で、ボックス内の自動弁は今年度中に36基、設置予定となつている。令和2年度に事業着手、令和7年度に事業を完了しその後、西部かん水組合は伊江土地改良区へ編入される予定であった。しかしながら、事業完了を令和11年度までの4年間延長せざるを得ない状況である。

2. 村では、伊江西部かん水組合へ毎年45万円の運営補助金を交付しており、かん水組合では、受益農家からの賦課金

等の収入と合わせて、電気代等の維持管理費を捻出している。一方、県営かんがい排水事業（伊江西部地区）の事業期間の延長及び近年の電気代高騰などの影響から、積立金を繰り入れる厳しい運営状況であることは十分に理解をしている。今後につきまして、前向きに検討をしていきたいと考えている。

問 これまでの積立金は、土地改良区内のファームポンドの賃貸料、ノニの販売料金、保全作業で余剰金を積み立ててきた。運営助成を実現できるようにお願いする。

答 農林水産課長 浦崎 悟

昨年発生したセグロウリミバ工の発生対策で、今年度はノニの木を剪定して収穫しないので、その収入の減少もあると伺っている。また物価高騰も御承知のとおり進んでおり、修繕



ちねん くに お 知念 邦夫 議員



県営かんがい排水事業 工事の様子



学校給食の栄養摂取量の改善に向けて

取り組むことはできないか

教育長 児童生徒が食に関心を持つような期待感を高めるメニューや食材の使用をするなど、学校給食の充実に引き続き努めていく

問 給食センターにおいては、児童生徒の心身の健全な発達のため、安全・安心で栄養バランスや量を考慮した、おいしい給食を日々提供しており、評価するものである。

新聞報道によると、国のエネルギー摂取基準量が、小学校基準（8歳～9歳）は650キロカロリーで、県平均摂取量は536.1キロカロリー、村の摂取量は487.2キロカロリーで、中学校は国の摂取基準量が830キロカロリーに対し、県の平均摂取量が655.9キロカロリー、村の摂取量は559.8キロカロリーで、小中学校とも県平均を下回っている状況である。

成長期にある児童生徒にとって、健全な食生活で、適切な栄養の摂取は、健康な心身を育むために欠かせないものであり、栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することにより、健康の増進、体位の向上が図られることから、栄養素摂取基準量の確保は重要であると考ええる。

今後、給食の栄養素摂取量の改善に向けた取り組みをどのように進めていく考えなのか。見解を伺う。

答 教育長

基準摂取量に基づき給食の提供を行っているが、児童生徒の実際の摂取量については、本村は、県平均を下回っており、残量を減らし、摂取量を確保できるよう、村の学校給食運営委員会や村保健委員会にて原因を洗い出し、改善に向けた様々な取組を行っている。

今年6月に実施した残量調査では、小学校500.2キロカロリー、中学校723.6キロカロリーと改善は見られるものの、摂取基準値を満たしていないので、児童生徒が食に関心を持つような期待感を高めるメニューや食材の使用をするなど、学校給食の充実に引き続き努めていく。

問 現段階では予算も十分に確保されているが、離島がゆえに、材料費の輸送コストや今後物価高騰の余波により、給食栄養素の確保に影響を及ぼす状況になれば、必要な予算額を躊躇なく確保することが重要かと考えるが。

答 教育長

今後物価高騰等で、予算的に厳しいという状況になれば、速やかに予算措置等について検討していく。

問 SDGsの推進の観点から、食品ロスの削減に努め、調理残渣や食べ残しの堆肥化、肥料化への再利用等が重要であるが、現在、残渣はどのように処理をされているのか。

答 教育行政課長 新城米広

現在の給食の残量につきましては、そのまま給食センターのほうで廃棄として処理をしている。

問 家畜の飼料や、農業用堆肥に活用することは、地域循環型社会の構築にも繋がるので、今後再利用に努めていただきたい。重要なのは、給食の残食を減らすことであり、子ども達に食の大切さや食の作り手への感謝や環境問題への意識を育む食育等の推進に向けて、今後どのように取り組んでいくお考えなのか。



みやぎ ひろかず
宮城 弘和 議員

答 教育長

給食センター、栄養士を中心に学校と連携しながら、給食の改善、食育の指導も行い、子ども達の栄養素摂取がしっかりとできるよう努力していく。



学校給食の様子

伊江島ヨットレースを村の観光イベントに

村長 どの程度の組織ができるかを含め検討し、村としてもイベントとして定着できるように努力していきたい

問 去った8月23日土曜日に、宜野湾マリーナ沖合から伊江島間での第12回伊江島ヨットレースが開催された。レースには、9艇のヨットが参加し、レース終了後の交流会には、ヨット乗員約70名と村からは、伊江島観光協会関係者と村長も参加いただき、乗員の親睦と交流を深め、帰りにはラム酒をはじめ島の特産品を多く購入していた。関係者からも好評であった。ヨットレース開催の意義は、マリinjレージャーの普及・啓発と海洋思想の継承を図るとともに、参加者の親睦と村民の交流を深め、観光客の誘客を推進し、観光振興、地域経済の効果に寄与するイベントと考える。

答 つきましては、観光客誘致・地域経済の効果に寄与する伊江島ヨットレース大会を、村の伊江島一周マラソン、ゆり祭りなどに続く観光イベントとして、村も共催する考えはないか。

答 村長

ヨットレースは、村内にある事業所

が受入れを行っていたが、今回はJSA F(ジエイサフ)外洋沖縄が主催し、村内の関係者や伊江島観光協会の協力を得て、交流会の準備を進めることができている。

ヨットレースは、マリinjレージャーの普及促進や村民との交流をはじめ、観光誘致と地域経済への貢献など多岐にわたる重要な意義を有すると認識している。

伊江島ヨットレースの共催につきましては、今後、主催者側と村内の実行委員会の組織体制などを検討していく中で、県内のヨットレースの状況把握に努めながら前向きに検討したい。

問 県内のヨットレースの状況把握に努めながら前向きに検討したいとあるが、次年度についての見込みを伺う。

答 商工観光課長 金城幸人

まず村民の方々にも認知、周知をし、こういったヨットレースがあるという

ことを分かっていたいただきながら、また来年どういった形で大会を盛り上げていくか、年内で計画をし、関係者と話し合っていきたい。

問 関係者の方々は、ヨットレースの交流の中で、村民や子ども達にもヨットの乗船を体験して、マリinjレージャーに興味を持ついい機会になるかと思う。財政的な話もあるので、村長の意見を伺う。

答 村長

行政がやるべきこと、あるいは観光協会、そして民間の方々の力を借りながら、どの程度の組織ができるかを含め、一緒に検討し、この件については、ぜひ、村としてもイベントとして定着できるように努力していきたい。



座間味ヨットレース



なみざと はる お
並里 晴男 議員



村広報誌「イーハッチャー」印刷請負業務業者選定について

村長 複数年契約で企画提案型プロポーザル方式を実施予定であり、委員の構成については、必要に応じ対応、検討する

問 印刷請負業務業者選定については、前回契約より、企画提案型「プロポーザル」方式を用いたとの説明があった。参入希望業者間の、公正・公平な選定方法だと思いが、今年度が3年契約の最終年度になり、下記について伺う。

1. 次年度以降も、印刷請負業務業者選定については、企画提案型「プロポーザル」方式との認識でいいか。
2. 今後、複数年契約とするか。
3. 選定委員の構成に各課長も構成しはどうか。

答 村長

以前の印刷請負業務は、毎年度に見積もりを提出していただき、請負印刷会社を決定していたが、広報誌のデザインや品質などの向上、経済性、公平性と透明性が望めることから令和4年度より企画提案型「プロポーザル」方式にて業者選定を行っている。

1. 今年度が3年契約の最終年度となることから、これまで同様に、企画提案型「プロポーザル」方式を実施予定である。

2. 印刷物の安定供給、品質の維持、業務の一貫性の構築等の観点を踏まえ、次回の契約も複数年契約を考えている。

3. 現在の選定委員は、担当課長のほか、前任の広報担当者など、知見のあるメンバーで構成している。評価は、単にデザイン性のみを重視した選定ではなく、業者の組織体制、提案事由など総合的に行っている。委員の構成については、必要に応じ対応、検討していきたいと思う。

合宿施設確保について

村長 既存の施設や民間施設の有効活用等も含め調査研究していきたいと考えている

問 合宿施設については、一時計画（案）が示されたこともあったが、新型コロナウイルスの影響なども受け自然消滅した感が否めない。スポーツ総合施設をさらに有効利用するため、村外からの利用者受入れに合宿施設確保が必要だと感じるが、次の2点について伺う。

1. 以前、示された合宿施設整備計画はどうなったか。

2. JAおきなわ所有の農民道場を改修し活用できないか。

答 村長

平成28年の多目的屋内運動場を皮切りに、野球場や総合体育館が供用開始され、村民の健康保持、増進や競技力技術向上のみならず県内外からスポーツ団体が合宿で利用していただいている。

1. 合宿施設については、多目的交流センターとして事業構築に向け検討を行い、国の補助事業などを想定し、事業立案に向け取り組んできた。しかし、事業を推進していく中で、数十億円にも及ぶ大規模な建築費用と多大な運営費用などが課題となる中、追い打ちをかけるようにコロナの襲来が重なり、事業立案が難航している状況であった。その後も民間の参入なども視野に入れ、事業の検討を行ったが、進展のない状況である。



うちま ひろき 内間 広樹 議員



伊江村農民道場

2. 農民道場は、築40年以上の施設であり、老朽化が顕著に見られ修繕が必要となる箇所があり、早急な活用は困難と慮する。JAおきなわとしても、現在の施設に費用をかけ利活用する考えはないとの説明を受けている。スポーツコンベンションの推進に向け、合宿施設の必要性は理解しているが、現段階では具体的な計画はなく、今後は、既存の施設や民間施設の有効活用等も含め調査研究していきたいと考えている。

議決の結果

令和7年 第8回定例会

会期：令和7年9月17日(水)～19日(金)

議案番号	件名	議決月日	議決結果
報告第12号	令和6年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出について	9月17日	原案報告
報告第13号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	//	//
議案第62号	伊江村職員の休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	原案可決
議案第63号	伊江村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第64号	令和7年度伊江村一般会計補正予算(第3号)	9月18日	//
議案第65号	令和7年度伊江村診療所特別会計補正予算(第2号)	//	//
議案第66号	令和7年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	//	//
議案第67号	令和7年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第1号)	//	//
議案第68号	証人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	9月17日	//
認定第1号	令和6年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について	9月19日	原案認定
認定第2号	令和6年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	//	//
認定第3号	令和6年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	//	//
認定第4号	令和6年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//	//
認定第5号	令和6年度伊江村水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//
認定第6号	令和6年度伊江村船舶運航事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について	//	当選
陳情第1号	県産品の優先使用について	//	原案採択

令和7年 第9回臨時会

会期：令和7年10月29日(水)

議案番号	件名	議決月日	議決結果
議案第69号	伊江村特定専門職定住促進住宅新築工事(建築・周辺整備)の請負契約について	10月29日	原案可決
議案第70号	伊江村立診療所電子カルテシステム購入業務の契約について	//	//
議案第71号	伊江村立診療所一般X線撮影装置購入業務の契約について	//	//
議案第72号	伊江村立診療所医用画像情報管理システム購入業務の契約について	//	//
議案第73号	令和7年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	//	//

◆議案第69号 特定専門職定住促進住宅ってなあに!?

村民が安心、安全、心豊かに暮らすための持続的な村づくり実現に向けて、特定専門職(看護師、保健師、保育士、介護士)の確保を目的に、村内での就労を入居条件とした定住促進住宅です。



※完成イメージ図



第2回

伊江村議会
議会報告&

村民との意見交換会



宮城 弘和



島袋 勉



並里 晴男



知念 邦夫



議長
渡久地 政雄



島袋 義範



内間 広樹



亀里 敏郎



蛇江 修

申込不要 参加自由

※開会時間までにお越し下さい。

あなたの声をお聞かせ下さい!



意見交換会は、村民と議会を身近なものとし、議会の活動状況等の報告を行いながら、皆さんからの議会に対するご意見をいただく大切な機会です。2班に分かれてのグループワークにて実施。気軽にご意見をお聞かせください!多くの村民の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

日時:12月2日(火) 19:00~21:00(終了予定) 場所:伊江村改善センター

【お問合せ先】 伊江村議会事務局 TEL:0980-49-2924 FAX:0980-49-2991

あの質問・質疑どうなった!? 令和6年6月定例会

本部港臨港道路の横断歩道の安全性の確保は



現 令和7年8月頃、縁石を削り、段差をなくし、安全に通行が行えるよう、整備を行った。

令和7年8月頃、縁石を削り、段差をなくし、安全に通行が行えるよう、整備を行った。

答 転倒事故等も考えられることから、安全・安心な通行を確保するために早急に沖縄県へ、バリアフリー等も考慮した改修工事の調整及び要請をする。

転倒事故等も考えられることから、安全・安心な通行を確保するために早急に沖縄県へ、バリアフリー等も考慮した改修工事の調整及び要請をする。

歩行者の安全性、利便性に配慮した横断歩道の改修整備を道路管理者の沖縄県に対して要請していく考えはないか。

歩行者の安全性、利便性に配慮した横断歩道の改修整備を道路管理者の沖縄県に対して要請していく考えはないか。

歩行者の安全性、利便性に配慮した横断歩道の改修整備を道路管理者の沖縄県に対して要請していく考えはないか。

質 本部港でフェリー乗降客がバス停留所、立体駐車場へ移動する際の臨港道路に設置された横断歩道の車道と歩道の縁石の高さが25センチあり、段差が多きく高齢者や障害のある人だけではなく、ベビーカー、幼児連れの方等にとっても安全な通行に支障を来している。また、転倒事故等の事態も危惧されることから早急な改善策を講じる必要がある。

本部港でフェリー乗降客がバス停留所、立体駐車場へ移動する際の臨港道路に設置された横断歩道の車道と歩道の縁石の高さが25センチあり、段差が多きく高齢者や障害のある人だけではなく、ベビーカー、幼児連れの方等にとっても安全な通行に支障を来している。また、転倒事故等の事態も危惧されることから早急な改善策を講じる必要がある。



本部港臨港道路 (整備前)

整備後



本部港臨港道路 (整備後)



令和7年 高齢者叙勲

たましろとくじん

きよくじつたんこうしょうじゅしょう

玉城徳仁氏

旭日単光章受章



10月23日、沖縄県庁にて、伝達者を池田副知事とし、高齢者叙勲伝達式が行われ、伊江村からは、玉城徳仁氏が、旭日単光賞を受章しました。

玉城徳仁氏は、平成6年から平成18年までの3期12年の議員在任中、地域の産業、教育、文化、福祉の向上に努めました。

以前には、区長職（伊江村西崎区）7期14年や保護司（1年）、民生委員（3年）などを歴任し、村の振興発展に尽力しました。



玉城徳仁氏

「高齢者叙勲」とは!?

春秋叙勲により勲章を授与されていない功労者のうち、年齢88歳に達した方に対して、その功績に報いるために勲章を授与する制度です。各職種に設けられた基準年数を務めた方が対象となっており、町村議会議員の高齢者叙勲受章の条件は、12年以上となっています。



選挙管理委員 及び 補充員 紹介



任期：令和7年10月28日～令和11年10月27日

○選挙管理委員

◇委員長

照屋 善一（西崎区）

◇委員長職務代理

大城 春代（西江前区）

◇委員

富田 忠克（東江上区）

大城 武春（川平区）

○補充員

大城 忠蔵（東江上区）

喜屋武 宗健（阿良区）

長嶺 久昭（真謝区）

山城 京悟（西江上区）

みんなが安心して投票
できるよう、選挙を運
営してくれるっチュン!





7,437万円の繰越財源を含む

の黒字決算

令和6年度決算
6会計を認定

令和7年第8回
(9月)定例会を
3日間の会期で
行ないました。

- 本定例会では、令和6年度各会計の決算認定や令和7年度一般会計及び特別会計補正予算等17議案を審議した。(※P7参照)
- 令和6年度決算の認定にあたっては、決算審査特別委員会を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行った。
- その結果、付託された6会計決算すべて『認定すべきもの』と決定しました。

令和6年度 歳入歳出決算額表

会計別	予算現額 (千円)	A 収入済額 (円)	B 支出済額 (円)	A-B 差引残高(円)	令和5年度 比較増減(円)
一般	7,962,032	7,172,913,072	6,907,530,392	265,382,680	▲ 32,250,563
診療所	394,775	394,303,525	379,115,711	15,187,814	▲ 23,875,582
国保	988,190	966,032,791	959,266,826	6,765,965	1,268,690
後期高齢者	75,807	75,635,977	74,786,684	849,293	179,101
水道(収益)	190,126	182,936,188	180,671,831	2,264,357	1,979,012
船舶(収益)	868,100	787,916,540	852,138,792	▲ 64,222,252	▲ 34,679,083
合計	10,479,030	9,579,738,093	9,353,510,236	226,227,857	▲ 87,378,425

村債(借入金)残高の推移

平成30年度	41億6,372万円
令和元年度	42億7,402万円
令和2年度	42億7,183万円
令和3年度	45億3,530万円
令和4年度	44億167万円
令和5年度	43億21万円
令和6年度	39億9,848万円

令和6年度は村の借金が3億173万円の減となった。

Q 村民1人当たりに使われたお金はいくら?

1人当たり
1,712,187円



1世帯当たり
3,225,231円



タッチゅん

※ 一般会計歳出決算額を、令和7年3月末の人口(4,182人)世帯(2,224世帯)で割り、算出しました。



令和7年 第8回 定例会 (9月)



一般会計 2億6,538万



一般会計予算
決算額

69億753万392円の主な使い道は!?

農林水産業費 .. 16億1,996万円 (前年度 3,928万円増) 【地域水産物供給基盤整備事業等による】

総務費 .. 13億7,723万円 (前年度 1億9,037万円減) 【移住定住促進住宅整備事業の完了による】

民生費 .. 11億2,682万円 (前年度 1,913万円減) 【価格高騰緊急支援交付金事業、東保育所アーケード設置事業の完了による】

教育費 .. 6億1,140万円 (前年度 2億4,571万円減) 【総合運動公園(野球場サブグラウンド施設)整備事業、西小学校ブロック塀改修工事等による】

商工費 .. 5億3,144万円 (前年度 2,853万円減) 【伊江島蒸留施設機能拡充事業の完了による】

土木費 .. 5億4,487万円 (前年度 970万円減) 【離島定住環境基盤整備事業の完了による】

衛生費 .. 3億4,142万円 (前年度 3,739万円減) 【人口透析装置購入事業等の完了による】

令和6年度 完了事業



具志漁港機能保全工事



伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業

監査委員の意見(抜粋)

3E監査
経済性、効率性、有効性
の追求



具志川 豊秀
代表監査員



虻江 修
監査委員

今後、少子高齢化の進展に伴い社会保障関係費や物価高に対応する経費や人件費、現有施設の老朽化に対する長寿命化と維持管理に係る経費の増高が見込まれる。引き続き、経済性、効率性、有効性が図られる行政運営に期待する。

令和6年度一般会計決算において、自主財源は15億8,074万4千円(構成比22.0%)で対前年度比1億1,234万7千円(7.7%)の増となっているが、依然として脆弱な財政基盤である。当年度は第5次行政改革に沿った各施設使用料の見直しと「企業版ふるさと納税寄付金」の積極的な企業への働き掛けにより自主財源が拡充された。更に、産業振興による安定的な税源涵養など歳入確保に向けた不断の取組が必要である。



(令和7年9月18日)

決算審査 特別委員会



問 企業版ふるさと納税寄付金について、前年度の寄付した企業は何件であったか。

答 令和6年度に寄付いただいた企業数は7件である。

問 加齢性難聴者補助金購入費助成事業の実績は5人となっているが、その5人以外にも助成申請の相談、問い合わせ等があったのか。また、補聴器を必要とする高齢者に対して補聴器購入費用助成制度を、どのように周知されているのか。

答 購入にまで至らないも、窓口にて御相談や問い合わせがあり、実際に購入に至った方も5人も含め、8人の方々の御相談

があった。周知の方法に関しては、村広報誌や本島の事業者が村内で営業する際にチラシを配布し、周知を図った。

問 離島漁業再生支援事業について、新規養殖業への取り組みはどう取り組まれているのか。

答 新規養殖業の要請については、シラヒゲウニの養殖に対する勉強会を開催したこと、アオサの養殖の実験をこの事業で実施している。

問 プールの実績をしてみると、令和5年度4,000人と、令和6年度が2,000人と、減っているが。

答 例年、プールオープンは4月の後半、ゴールデンウィーク前に実施をしているが、令和6年度は、県内主要ダムが水不足ということで、県から節水協力の通知があり、プールオープンが6月1日に実施したため、人数が大幅に減少した。



問 真謝区・西崎区住環境負担軽減事業の令和6年度の進捗は全体の何%であるか。

答 令和6年度時点で、全体の29%となっており、繰越分を完了すると全体の39%となる予定である。

● 決算審査特別委員会 委員長報告 ●



委員長
島袋 勉

令和6年度伊江村一般会計歳入歳出決算、診療所特別会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、水道事業会計利益の処分及び決算、船舶運航事業会計利益の処分及び決算の各認定について本議会より審査に付託され、9月18日議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を開会し、審査を行った。

各会計の質疑が終了し、「討論なし」及び「異議なし」と認め、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

戦後
80年伊江村民収容跡地訪問
渡嘉敷村・座間味村訪問

感謝の集い

9月28日、渡嘉敷村・座間味村（慶留間区）で行われた、「戦後80年渡嘉敷村・座間味村訪問感謝の集い」に全議員が参加しました。

約200名の参加者があり、式典では、黙祷を行い、伊江村長、伊江村議会議長、訪問先の村長、各世代代表として、伊江村の老人会、女性会、青年会の代表者より、献花が行われました。



渡嘉敷村長、伊江村長と献花を行う渡久地議長



渡嘉敷村での式典後



座間味村（慶留間区）での式典後

その後、両村長挨拶が行われ、目録・記念品、感謝状贈呈がありました。贈呈後、伊江村民俗芸能保存会の方々による、『砂持節』、『くさとう節』、『城の前』の奉納演奏の披露もありました。

後世に、平和の尊さ、生きる喜びを繋いでいくため、参加者で祈りをささげました。

渡嘉敷村・座間味村
との繋がりについて

1945年5月、米軍は伊江島を占領後、戦場整理のため、村民を強制的に移送し、渡嘉敷村へ約1,700人、慶留間島へ約400人が民家へ収容されました。

現人口の約半分の村民が移送されているとおもうと大変っチュン。。



8/29



令和7年度 町村議会広報研修会

- 第1部** テーマ：「インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう」
講師：インタビューライター 丘村 奈央子 氏
- 第2部** テーマ：「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本
～1人でもできる撮影ノウハウ、インタビュー撮影技術～」
講師：映像講師・映像ディレクター・
(公社)日本広報協会 広報アドバイザー 渡川 修一 氏
- 第3部** テーマ：「議会活性化と連動した広報紙づくり
～住民の政治参加をうながすツールに～」
講師：福岡県大刀洗町議会 議会広報委員会 委員長 平山 賢治 氏



LINE CUBE SHIBUYA A (渋谷公会堂) にて、議会広報特別委員で、令和7年度町村議会広報研修会に参加し、3人の講師の講演を受け、今後の議会広報における知見を得ることができました。



10/8



町村議会議員・事務局員研修会



西原町町民交流センターにて、全議員で町村議会議員・事務局職員研修会に参加しました。

町村議員、事務局職員を合わせ約380名の参加があり、全国町村議会議長会議事調査部長 飯田厚 氏が、「議員の役割と負託される職務」と題した講演を、続いて、一般財団法人美ら島財団 宇保朝輝 氏、佐久本純 氏が、「首里城復興の歩み及び海洋博の50年」について、最後に、災害ソーシャルワーカー・社会福祉士・防災士である稲垣暁 氏が「災害時における町村議会と議員」と題した講演が行われました。



横笛で演奏する宇保氏

11/11 経済・公営企業常任委員会 沖縄県畜産共進会視察

糸満市の南部家畜市場で開催された、令和7年度第4回沖縄県畜産共進会を経済・公営企業常任委員で視察しました。

伊江村からは、共進会へ第1肉用牛部門 若雌区分で2頭を出品し、第1類で、内田 大也 氏の「かすみ715」が第3席、第2類では、島袋 博光 氏の「つるのこ」が第4席という成績を取めました。日頃のご研鑽に敬意を表し、益々の活躍を祈念します。



11/12 第69回町村議会議長全国大会 及び研修会

東京都渋谷区NHKホールにて開催された、第69回町村議会議長会全国大会に、渡久地議長が参加しました。

大会終了後、研修会が開催され、元プロ野球監督・野球評論家の達川 光男 氏を講師とし、「苦しみを笑いに変えた野球人生～達川式一流リーダーシップ論と育成術～」と題し、講演が行われました。

また、大会・研修会の他、「クロネコヤマトミュージアム」、「東京都北区防災センター（地震の科学館）」を視察しました。



大会の様子

11/22 総務常任委員会 離島フェア2025視察

沖縄セルラーパーク那覇で開催された、離島2025を総務常任委員で、視察しました。

『離島の個性をまるごと体感。五感で味わう島の魅力』をテーマに、会場には、離島からの出店業者による飲食ブースや、特産品ブースがあり、多くの来場者で賑わいました。

また、芸能ステージでは、西江上区の芸能が披露され、出演者へ激励を行いました。





議会広報いえそんNo.190号 (9月号)

いえそん

議会広報の感想を 聞いてみました。



議会広報「いえそん」を 読んでの感想

各議員や役場などの行政は「よりよい村にする」ことを最大の使命とし、様々な施策や立案に向けた活動を知ることができます。これからも「わかりやすい」「読みやすい」議会広報を期待しています。

伊江村に期待すること

私は伊江島が大好きです。この伊江島が県内だけにとどまらず、日本全国に知れ渡り伊江村民のさらなるご活躍を切に願います。



大石 翼

おおいし つばさ
行政区：川平区
出身地：うるま市

自己紹介

川平駐在勤務 4 年目になります。「民警一致」を目指して、村民の方々と安心と安全を守りたいと思います。



名富 裕介

なとみ ゆうすけ
行政区：東江前区
出身地：浦添市

自己紹介

今年4月から伊江駐在所へ赴任しました。姓は奄美のものらしいですが、生まれも育ちも沖縄本島です。安心・安全に暮らせる村づくりに全力を尽くします!!

議会広報「いえそん」を 読んでの感想

全体の読みやすい文章や誌面構成から幅広い世代への配慮が感じられました。

一般質問では、何が問われ、どう答えられたのかが明らかにされ、透明な議会運営の姿勢が伝わりました。また、過去の質疑について回答するコーナーは、広報誌の特性である継続的な発行を生かし、取組を段階的に周知している点から、とてもよく考えられた内容であると感じました。

伊江村に期待すること

村政と駐在の根本理念として「村民が安心・安全に暮らせる村づくり」の部分が共通すると考えています。これまでの駐在員と同様に協力しあい、村の発展に貢献していける体制の維持にとどまらず、さらなる協力体制を築き上げることができたらいいなと思っています。よろしくお願いします!

議会広報「いえそん」を 読んでの感想

写真を多く使った記事構成になっており、とてもイメージがしやすいようになっています。議員の活動を見ることができ、良い広報誌になっているなと思いました。

伊江村に期待すること

若者が、色々な面でUターンしやすくなるような環境づくりを期待します。



玉城 盛栄

たましろ せいえい
行政区：西江上区
出身地：西江上区

自己紹介

本部地区交通安全協会伊江支部の支部長を務めています。「安全で住みよい交通社会」の実現を目指しながら、伊江衛生維持管理社と、西江上区長としての業務も頑張っています。「字マール」では多くの方々に協力していただき、ありがとうございました。



議会の活動

9月 September

- 9日：伊江駐在開所式（正副議長）
- 9日：令和6年度決算審査報告
村長、議長へ意見書提出（虻江監査委員）
- 11日：議会運営委員会、議員全員協議会（全議員）
- 14日：第70回伊江村陸上競大会（全議員）
- 17日：JA伊江支店園芸生産組合通常総会（議員）
- 17日～19日：第8回伊江村議会定例会（全議員）
- 21日：伊江中学校運動会（全議員）
- 22日：伊江島カントリークラブ役員会（議長）
- 26日：令和7年度第49回北部地区畜産共進会
（議長、経済・公営企業常任委員/今帰仁村）
- 28日：伊江村民収容跡地訪問「感謝の集い」
（全議員/渡嘉敷村・座間味村）

10月 October

- 5日：第62回国頭郡陸上競技大会（議員/国頭村）
- 6日：チューパンジャ祭り実行委員会（議長）
- 7日：町村議会議長会定例総会（議長/那覇市）
- 8日：町村議会議員・職員研修会（全議員/西原町）
- 10日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 11日：西江上区民俗芸能発表会（全議員）
- 12日：伊江幼・小学校運動会（伊江小校区議員）
- 16日：伊江村振興計画審議会（議長）
- 18日：西幼・小学校運動会（西小校区議員）
- 20日：離島体験首長発表説明会（議長）
- 23日：高齢者叙勲伝達式（議長/那覇市）
- 25日：老人会・女性会運動会（議員）
- 29日：第9回伊江村議会臨時会（議員）
- 31日：久茂地都市開発レセプション（議長/那覇市）

11月 November

- 1日：沖縄県畜産共進会（経済・公営企業常任委員/糸満市）
- 5日：町村監査委員総会・研修会（虻江監査委員/那覇市）
- 6日：製糖工場火入れ式（議長）
- 7日：伊江村防火デー式（全議員）
- 10日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 11日～13日：第69回町村議会議長会全国大会（議長/東京都）
- 13日：広報委員会（広報委員）
- 14日：伊江島マラソン実行委員会（副議長）
- 21日～23日：離島フェア2025（総務常任委員/那覇市）
- 27日：伊江村防風林の日（議員）
- 27日：北部市町村議会議長会第3回理事会定例総会
（副議長/大宜味村）
- 28日：伊江村民収容跡地訪問「感謝の集い」（議員/名護市）



伊江駐在開所式



防火デー式



わたし

私がしんそんを

題字揮毫者

か書きました!

名前

たま しろ かず こ
玉城 和子

生年月日

昭和11年5月10日生 満89歳

行政区・屋号

西崎区:ユムイ(トープヤー)

職員からみた和子さん

琉球民謡が大好きな和子さん。三線の音が流れると笑顔倍増、活気倍増で、手拍子され大喜び!ご家族から昔はとても三線がお上手だったと伺っています。字を書くことは苦手とおっしゃりながらも、頑張っ書かれました。

これからも、お元気で明るく楽しく過ごしていきますましよう。



ダウンチュウムニ

独り言

西江上区民俗芸能発表会

10月11日に西江上区公民館で、西江上区民俗芸能発表会が開催され、18年ぶりに上演する組踊「本部大主」をはじめ二才踊、舞踊40演目が披露された。6月より稽古が始まり、セリフや踊りなどを先輩方からしっかり指導され、発表会では、会場から大きな拍手や声援をいただいた。

お客様から、「素晴らしかった!感動した」などと賞賛の声があった。

「シタイ イリウイシンカ」

伊江村議会議員 知念 邦夫

今月の表紙

タイトル【トリックオアトリート!】

今月の表紙は、東・西保育所の子ども達のハロウィンごっこの様子です。 上段【西保育所】 下段【東保育所】

▶ 12月定例会予定

12月17日(水) 午前10時～

議会傍聴を希望される方は、議会事務局 (☎49-2924) へお問合せ下さい。
発熱や風邪、倦怠感のある方はご遠慮いただく場合がございますのでご理解ください。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局



印刷インキに植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。



読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。



議会広報 いえそん
No.191 12月号



議会広報

いえそん

発行 / 伊江村議会
編集・印刷 / 株式会社印刷

〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL 0980-491-2924
TEL 0980-491-5814